

## (様式7)

## 公共事業継続箇所評価調書

評価確定日(平成16年 8月30日)

事業コード	H16-建-継-19			区 分	国庫補助・ <b>県単独</b>
事業名	地方特定道路整備事業			部 局 名	建設交通部
事業種別	道路改築(新設)			課室班名	道路建設課 地方道班 (tel) 2485
路線名等	(主)花巻大曲線			担当課長名	佐藤 紀一
箇所名	六郷町瀧尻			担当者名	主幹(兼)班長 小田 修
総合計画との関連	政策コード	U	政策名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備	
	施策コード	4	施策名	地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備	
	目標コード	2	施策目標名	県道の整備促進	

## 1. 事業の概要

事業期間	H5~H22(18年)	総事業費	16 億円	国庫補助率	-	
事業規模	延長L=2,874m 幅員(構成)W=5.0(0.5-4.0-0.5)					
事業の立案に至る背景	当該路線は、岩手県花巻市を起点に同県沢内村、秋田県六郷町を經由し大曲市へ至る主要地方道であるが、県境部が通行不能区間であることから、秋田岩手両県の広域的な交流と連携を促進するため、岩手県との同時施行による早期の全線開通を目指しているものである。					
事業目的	通行不能区間の解消					
事業費内訳 事業内容	(単位:千円)					
		全体	H15年度迄	H16年度	H17年度	H18年度以降
事業費内訳	事業費	1,600,000	1,076,000	10,000	50,000	464,000
	経費内訳					
	工事費	1,160,000	688,000	0	40,000	432,000
	用補費	28,000	11,000	7,000	5,000	5,000
その他	412,000	377,000	3,000	5,000	27,000	
財源内訳	国庫補助					
	県債	1,440,000	968,000	9,000	45,000	418,000
	その他					
一般財源	160,000	108,000	1,000	5,000	46,000	
事業内容		測量設計 用地補償 改良工 舗装工	用地補償	用地補償 改良工	用地補償 改良工 舗装工	
事業推進上の課題	特になし					
上位計画での位置付け	総合計画における施策「地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備」を支援する事業					
関連プロジェクト等	北東北3県推進事業					
事業を取り巻く情勢の変化	通行不能区間の解消については、岩手県との進捗調整を図っている。					
事業効果把握の手法及び効果	指標名	路線改良率		データ等の出典	道路現況調書	
	指標の種類	成果指標	<b>業績指標</b>			
	指標式	改良率(改良済延長/路線実延長)				
	目標値a	84.0%				
	実績値b	69.6%				
	達成率b/a	82.8%				
把握の時期			平成16年 7月			

前回評価結果等	選定または継続	改善	保留または中止
	指摘事項		
	指摘事項への対応		

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評価点
必 要 性	当該道路は、県境部の通行不能区間を解消し、秋田岩手両県の広域的な交流と連携を促進するものである。	15点
緊 急 性	岩手県と進捗調整を行い、事業を実施している。	9点
有 効 性	岩手県との連携により新設道路を建設している。	9点
効 率 性	事業の費用便益比は4.53であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 20.3億円 ・総便益の現在価値 92.2億円	15点
熟 度	通行不能区間延長は、秋田県が2,030m、岩手県は1,460mであるが、秋田岩手両県とも全線開通に向けて着実に事業を進めている。	18点
判 定	ランク ( ○ )	66点
	通行不能区間の解消のため、岩手県と進捗調整の上事業を行っていることから引き続き実施すべきである。	
総合評価	継続 改善して継続 見直し 中止	
	事業継続は妥当である	

## 3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

当該事業については、コスト縮減に留意し着実な推進を図る。

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の評価及び対応方針を可とする。

別表7 (21)

## 公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所 (継続箇所) 事業コード (H16-建-継-19) 箇所名 (湯尻)

適用事業名 道路改築事業(地域内・生活圏交通促進)

## 1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題					
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員 < 5.5m ・最小半径 < 100m ・最急勾配 > 5% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上		(8)	8	通行不能区間の解消
		2箇所		6		
		1箇所		4		
		0箇所以上		0		
		計		15		
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度 1.0 ・現道の旅行速度 30km/h ・現道の事故率 50件 ・通学路指定で歩道なし ・重大交通事故が発生	5件該当		(7)	7	通行不能区間の解消
		4件該当		6		
		3件該当		5		
		2件該当		4		
1件該当			2			
該当項目なし			0			
計			15			
緊急性	道路をとりまく環境等					
	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり		(4)	4	北東北3県推進事業
		なし		0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり		3	0	
		位置づけなし		(0)		
	交通量	増加している		3	0	
		増加していない		(0)		
	特有の課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、 冬期通行不能区間等	あり		(5)	5	
なし			0			
計			15			
有効性	道路の位置づけ					
	生活圏30分形成道路等	該当する		7	0	
		該当しない		(0)		
	救急医療施設へのアクセス道路	該当する		7	0	
		該当しない		(0)		
	地域防災計画画重要な道路	該当する		7	0	
		該当しない		(0)		
	社会変化による事業の必要性	必要性が高い		(9)	9	
		低下傾向		6		
		必要性が低い		3		
計		30				
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益比(B/C)	1.0以上		(5)	5	B/C=4.53
		0.5以上~1.0未満		3		
		0.5未満		0		
	計画交通量	1,000台/日以上		5	0	
		500台/日以上~1,000台日/未満		4		
		300台/日以上~500台日/未満		3		
		300台/日未満		(0)		
	コスト縮減	あり		(5)	5	
		なし		0		
事業中止による影響	既投資額の損失大		(5)	5	etc 大規模バイパス etc 部分的ミニバイパス etc 現道拡幅	
	既投資額の部分的損失		4			
	既投資額の損失が少ない		3			
計		20				
塾度	事業の進捗進捗状況					
	事業の進捗(事業費)	8割以上完了		10	8	
		5割以上完了		(8)		
		1割以上完了		5		
		1割未満		2		
	用地買収の進捗(面積)	8割以上完了		(10)	10	
		5割以上完了		8		
		1割以上完了		5		
		1割未満		2		
		未着手		0		
計		20				
合計		100	66			

## 2. 判定

ランク	判定内容	配点	合計点	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上	66	
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		